

# TSUDOI

## スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

### 本レポートコンテンツ

#### ◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測








#### ◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

#### ◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

### ◆調査銘柄 早見表

TOP	 <a href="#">Cardano</a>	 <a href="#">Litecoin</a>	 <a href="#">Uniswap</a>
中堅	 <a href="#">Pancake Swap</a>	 <a href="#">Alchemy Pay</a>	 <a href="#">SwiftCoin</a>
新規	 <a href="#">Solayer</a>		

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



# 週次トークン価格高騰 TOP銘柄

## トップ銘柄 分析ガイド 2/14

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題になっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から市場で何が起ったのかどの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#9	 <b>Cardano</b>	Layer1	¥4,259,455,355,942	¥121.01	11.66倍 (ETH比)	▲3.41%
#17	 <b>Litecoin</b>	PoW	¥1,417,123,707,890	¥18,763.09	207.03倍 (BTC比)	▲13.29%
#25	 <b>Uniswap</b>	DEX	¥895,552,330,293	¥1,491.29	—	▲3.45%

## TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▲0.99%となっております。





参照元：Coinmarketcap

## 銘柄の価格高騰要因(考察)



とは

TSUDOIRリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

### Cardano：ADA

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。



注目ポイント：スポットETF申請のニュースに期待感高まる

2月6日、世界最大級の暗号資産運用会社GrayscaleはCardano (ADA) のスポットETF申請をNYSEに提出したことで注目が集まっています。この動きは、Cardano市場への関心を一層高め、機関投資家の参入促進につながると期待されており、同時期に大口投資家（ホエール）によるADAの積み増しが確認され、より長期的な視点で投資を行う大口投資家が増加する可能性があります。このような一連の動向は、Cardanoに対する投資家の信頼感を裏付け、市場の底堅さを示唆するものとなります。

## Litecoin : LTC



本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：BloombergアナリストがLTCのETF承認確立に高評価

BloombergアナリストがETF承認確率を高く評価(90%)したことで、Litecoin市場の期待感が高まっています。大口投資家（ホエール）による買い増しも活発化しており、価格上昇を後押ししています。過去にEthereumも同様に高評価を受けて実際にETF承認を得たため、投資家はさらなる上昇を期待しています。同氏は、同時に他のコインのETF承認率も公表していたのですが、過去に資金調達を行っていないプロジェクトほどマネロン調査が少ないなどの理由で、ETF承認のハードルが低い可能性があります。

## Uniswap : UNI

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：新Layer-2『Unichain』公開に期待高まる


2/12 Uniswapは、Ethereum上のLayer-2ソリューション「Unichain」を公開したことで注目を集めています。Unichainは、1秒ブロックタイムや95%安いガス代など、従来の課題である取引速度やコストを大幅に改善。さらに、スワップ、ブリッジ、流動性提供、さらにはトークン発行や借入など、多彩な機能を備えたプラットフォームとなります。Uniswapの大規模なDEXとしての信頼と実績が、競争の激しいLayer-2市場でも大きなアドバンテージとなるかどうか今後のオンチェーンデータ実績に期待が高まります。

# CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

## 狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 2/14

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap (CMC) における過去7日間の検索トレンドや訪問者数を分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

### 検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#85	 <b>Pancake Swap</b>	DEX	¥128,031,612,309	¥439.18	6.99倍 (UNI比)	▲96.98%
#232	 <b>Alchemy Pay</b>	Payment	¥34,189,769,619	¥3.93	634.37倍 (XRP比)	▼26.41%
#242	 <b>SwftCoin</b>	Cross-Chain	¥34,098,395,703	¥3.40	2.30倍 (W比)	▼22.08%

### 狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▲0.99%となっております。





参照元：Coinmarketcap

## 検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



とは TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

### PancakeSwap：CAKE

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：BNBChainのロードマップ発表の恩恵を受けると期待感高まる

BNB Chainの2025年ロードマップ発表を受け、主要DEXであるPancakeSwapへの注目が高まっています。特に、ガスレス取引（Megafuel）の導入により、小口投資家の参入が促進され、取引量の増加が期待されています。さらに、MEV対策強化により、流動性プロバイダー（LP）の収益が安定し、CAKEのステーキング需要が拡大する可能性があります。また、BNB Chainがミームエコシステムを強化することで、新たなミームトークンがPancakeSwapで活発に取引され、DEX全体の取引量が増加すると見られています。これらの要因が相乗効果を生み、PancakeSwapの成長に追い風となっています。



## Alchemy Pay : ACH

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

**注目ポイント：韓国で電子金融事業登録取得 & 米国市場拡大に期待感高まる**

Alchemy Pay (ACH) は、韓国で「電子金融事業登録」を取得し、KakaoPayやNaver Payなどのローカル決済手段への対応を強化。また、オーストラリアでデジタル通貨交換事業者ライセンスを取得し、米国・英国を含む世界12のライセンスを保有することで、規制対応を進めています。さらに、昨年発表された決済特化型Layer-1「Alchemy Chain」の開発を推進し、EthereumとMoveベースのエコシステムを統合する「Movement」との提携（1/30発表）により、VisaやMastercardを活用した決済手段の拡充も進行中とのこと。特に、アメリカ銘柄とされてるMovementとの提携は、米国のステーブルコイン規制緩和のニュースも相まって、今後の成長が期待されています。

補足：今後ステーブルコイン規制が各州単位で整備されれば、中小のステーブルコイン発行体も増え、市場では“ステーブルコイン同士”や“ステーブルコイン⇄法定通貨”の両替ニーズが拡大することが見込まれます。

## SwftCoin : SWFTC

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

**注目ポイント：SWFTCoin、新規発行終了で価値向上の可能性**

SWFTCoin (SWFTC) は、直近でアメリカ市場におけるCMC (CoinMarketCap) での銘柄検索数が増加しており、注目度が高まっています。コア開発者の一人であるRamble Lan氏は、カリフォルニア州の北米ブロックチェーン協会の会長やシリコンバレー初のブロックチェーン専用インキュベーターを7年以上務めており、アメリカ市場でのブロックチェーン技術の推進に積極的に関与してきました。本銘柄は直近、総供給量の上限である100億トークンに到達し、新規発行が終了したことです。これにより、固定供給による希少性が高まり、アメリカを中心に今後需要が拡大することで価値の上昇が期待される状況となっています。

## 大穴：新規銘柄 発掘ガイド 2/14

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング200位から800位に位置する銘柄を調査し、成長性の高いものに「Goodマーク」を付与する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄における「Goodマーク」は、TOPや中堅銘柄の「Goodマーク」とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンのバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	直近7日間 のCMC推移
#260	 Solayer	Layer1	¥27,752,239,423	¥132.15	3.15倍 (PENDLE比)	▼33.56%



参照元：Coinmarketcap

## Solayer：LAYER（新規銘柄として注目!!）

注目ポイント：中長期的にSolana経済圏拡大に寄与するかどうか期待感高まる

2/11Binanceを始めとした取引所に上場したことで話題となっております。チャート上では上場後にSolayer（LAYER）のAirdropによる短期的な売り圧が目立つものの、同分野のEigenLayerの成功事例を踏まえると、Restakingという領域は、ネットワークの経済圏全体に大きな影響を与える可能性があります。EigenLayerの急成長がEthereum経済圏の発展を後押ししたように、SolayerもSolanaのエコシステム拡大の起爆剤となる可能性があり、今後の展開に注目が集まります。

※昨年8月TSUDOI月次分析レポートにて注目していた銘柄となります。

## 引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>

## 注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDOI

メールアドレス：[info@sigmainc.co.jp](mailto:info@sigmainc.co.jp)

ウェブサイト：<https://tsudo-platform.co.jp/>